

『真実の声』発信による、内部からのＪＲ東労組破壊を許さず、

ＪＲ総連組織を守り、運動のさらなる強化・発展を勝ち取ろう！

昨年６月頃より、『真実の声』なるホームページが創設され、その管理者は不詳で投稿者も匿名のまま、ＪＲ東労組さらにはＪＲ総連、個人への誹謗・中傷する内容を執拗に発信し続けてきた。このような組織破壊行為の『真実の声』ホームページの管理者（発信者）が、ＪＲ東労組中央執行部員・東京地本企画部次長（地本特別執行委員）の畠山浩信君であることが判明した。

ＪＲ東労組中央本部は８月２２日、「畠山浩信君が全１２地本で組織破壊と確認した『真実の声』に加担していたことは、組織破壊以外の何ものでもない。ＪＲ東労組の名誉を著しく汚し、社会的信用を失墜させ、機関役員として団結または統制を乱した。よって、畠山浩信君を組織破壊者と断定し、中央執行部員の解除を決定し、東京地本に特別執行委員の指定解除を求める」ことなどを、第３回中央執行委員会で確認した。

ＪＲ総連「単組・地協拡大代表者会議」で確認した「『真実の声』は組織破壊行為以外の何ものでもない」との確認を踏まえ、ＪＲ東海労は昨年１１月１０日、ＪＲ東労組を再建するべく奮闘していく仲間を支援、すべての組織破壊攻撃を許さない闘いを推し進める決意を明らかにしてきた。

ＪＲ総連の運動は、働く者の安全・健康・ゆとり、そして平和を守る闘いである。ＪＲ東海労も微力ながらその一端を担ってきた。『真実の声』の発信により誹謗・中傷を繰り返すことでＪＲ総連を混乱させ、組織と運動を破壊すること、そしてＪＲ東労組の役員が内部から『真実の声』に加担していたことは、断じて許すことはできない。

ＪＲ東海労は、あらゆる組織破壊攻撃を跳ね返し、ＪＲ東労組及びＪＲ総連に結集するすべての仲間と固く連帯し、ＪＲ総連組織を強化・拡大し、運動の発展に向けて奮闘する決意を明らかにする。

２０１９年８月２８日

ＪＲ東海労働組合 中央執行委員会